

# 院内研修

平成 30 年

2 月 19 日～20 日



研修風景

特集

## 医療安全・感染防止研修実施しました

年 2 回当院で行っている職員全員参加の研修を 2 月 19 日～20 日の 2 日間に渡り、実施しました。参加率は、91.0%と高い出席を得ることができました。

### 医療安全研修 「チーム医療～コミュニケーションを見つめ直す～」

近年の医療現場は、医療機器やシステムの複雑化・高度化により、多種多様な医療従事者が、一人の患者様に関わる機会が増えました。複数の医療従事者が関わるために必要な技術として、「コミュニケーション」は非常に重要です。

今回は、自由に臆することなく言い合える環境作りのために①自分とは違うタイプがいること、②会話を発展させる言葉を学びました。良いチームワークの中でよりよい医療が提供できるよう努力していきます。

### 感染防止対策研修 「誤った吐物処理を映像から学ぶ」

「ノロウイルス」は、しばしばニュースでも取り上げられる感染力が非常に高い特徴を持ったウイルスです。一つ管理を間違えるだけで、周囲への感染者を増やしてしまいます。今回は、映像をみながら、対策や対応がどう間違っているのか、どうすればよかったかを話し合い、共有することができました。

#### 汚物処理時の 6 つのポイント

- 1 使い捨ての手袋、ガウン（エプロン）、マスク、くつカバーなどの個人防護具を着用すること。
- 2 処理をする人以外は、汚物に近づかないこと。
- 3 効果的な殺菌剤を使うこと。
- 4 十分に換気すること。
- 5 ウイルスは広く飛散し、高く舞い上がるため、広範囲の壁や床を洗浄すること。
- 6 処理後は手洗いを 2 回行い、うがいをする。

#### 衣類洗濯時の 4 つのポイント

- 1 すぐに洗えないときは衣類をビニール袋に入れ、周囲を汚染しないようにする。
- 2 下洗いをする  
付着した汚物のウイルスが飛び散らないように処理をした後、洗剤を入れ水の中で数分にも浸します。その際には、しぼきを取らないように注意して行いましょう。
- 3 リネン剤の消毒  
0.02%塩素系漂白剤を原液で希釈が有効です。その後、十分にすすぎ、裏面の裏面などを使用すると効果は高まります。初めてでは 10 分以上の熱水消毒が効果的ですので、熱水消毒が行えない洗濯機があれば利用しましょう。  
※和服などすぐに洗濯できない場合は、汚物の付着した部分をよく乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機を使用すると効果的です。
- 4 洗濯した場所の洗浄  
下洗いを行った場所も 0.02%塩素系漂白剤で消毒し、洗剤を使用し乾燥を行ないます。



講師：高野看護師長



引用) サラヤ(株)ノロウイルスとは